



白建第68号
平成19年4月24日

国土交通省道路局長 殿

宮城県白石市長 風間 康 静



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼があった標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

担当：白石市建設部建設課 土田
電話：0224-22-1326（直通）
FAX：0224-22-1328

白石市の道路課題等

◎ 基本的な考え

・ 役割分担：基本的には、国は大動脈の整備を行い、県は肋骨線の整備、市町村は住民直結している住民の足の確保と共に大動脈の代替え道路の整備が必要であり、整備するための国からの助成が必要である。

ただし、各高速道路（例として東北縦貫道と常磐道）の各インターを結ぶ肋骨線は高規格道路として国において整備すべきである。

・ 集落の維持：集落が存続するには道路、交通、情報等の整備が必要で、特に道路は集落を維持していくのには最も重要なものとなっている。

集落の崩壊は森林、農地等が荒廃し、国土の環境破壊となる。

さらに島国の日本にとっては国防の意味からも集落の崩壊は防止しなければならず、崩壊により、どこからでも侵入することが出来ることとなる。このことから国費による道路整備が必要であり、集落の崩壊を防止すべきである。

ヨーロッパでは国境付近に国民を住まわせるための施策を行っている。（デカップリング施策）

◎ 国道4号4車線化の促進（大平地区～福島県）

・ 白石市は宮城県と福島県との県境にあり、東北地方の喉と言われ、国道4号、東北縦貫道、JR東北本線が一箇に集中しており、有事の際に、交通遮断の危険性があります。また、冬期間の越河地区においては、降雪量が市街地の2倍と多く車両事故が発生すると全面通行止めや交互通行により、渋滞が拾数 Km に及ぶことがあり、早急の4車線化が必要である。

特に、県境については所管事務所も違うため特段の配慮をお願いします。

◎ 国道4号右折レーンの設置（斎川地区）

・大平地区以南には、国道4号から市道に進入するための右折レーンが設置されておらず、高速大型車両のすれ違いにおびえ、週末の混雑時には困難を極めています。特に、防災の関係上国道4号の代替え道路として整備している。斎川町西浦地区（299.55 k m 附近）の市道原線入口は、交通事故の発生が最も危惧され、地元民からの要望は多く寄せられております。スムーズな交通を確保することが必要であり、国道4号の右折レーン設置をお願いしたい。

◎採択路線の早期完成

都市計画道路沖の沢郡山線については市内交通渋滞の緩和のため整備が必要であり、計画に沿った整備促進が必要である。

◎河川堤防の有効利用：河川の堤防を道路として利用することにより道路予算を河川に利用でき、河川整備も行えることから推進すべきである。本市の県道部分で堤防利用により踏み切り2箇所の改良が不用となる等利点が多くある。

◎直轄事業の拡大：国道113号で新潟・山形県は直轄、宮城県は県施工となっており、施工後の状況は直轄部分はすばらしいものがある。宮城県部分についても直轄事業で行ってほしい。本市の場合国道113号の一部に狭隘の箇所があり大型バス等が交差することが困難な箇所があり即急に解消して頂きたい。

◎道路大規模補修の助成について

道路改良終了に伴う市道への移譲に伴う道路、道路改良済みの道路について長年使用しており舗装面等の打ち換え、法面保護補修が必要となっております。このような大規模補修事業についても補助事業として採択願いたい。

地方にはまだまだ山積しております。道路特定財源を堅持し道路整備推進を図っていただきたい。